

11月3日（金）14:00～開催！

小説 写真甲子園 0.5 秒の夏

（新評論）刊行記念トークイベント！！
菅原浩志さん（映画監督）＆桎辺 勲さん（著者）
【「写真甲子園」その魅力とは】

今を切り撮れ、一撃必撮！ 全国高校写真部日本一を決める大会「写真甲子園」が遂に映画化！

北海道・東川町をメインの舞台にした高校生カメラマンの「夢の舞台」である写真甲子園は、全国から優勝目指して写真と格闘する高校生たちの思いをのせて、毎年新たなドラマを産みながら感動のフィナーレを迎えます。そして、いよいよ2017年の11月より、映画『写真甲子園 0.5 秒の夏』が全国劇場公開！

★大黒摩季さん初の映画主題歌を書き下ろし！主題歌・挿入歌が完成しました！

◎映画『写真甲子園 0.5 秒の夏』の11月11日より全国に先駆け、北海道地区先行上映と、ノベライズ『小説 写真甲子園 0.5 秒の夏』刊行を記念し、監督の菅原浩志さんと著者の桎辺勲さんに、『写真甲子園』の魅力について、大いに語っていただきます。

場所 ジュンク堂書店旭川店 5階 ギャラリー・ジュンク

日時 2017年 11月 3日（金）14:00～（開場 13:30）

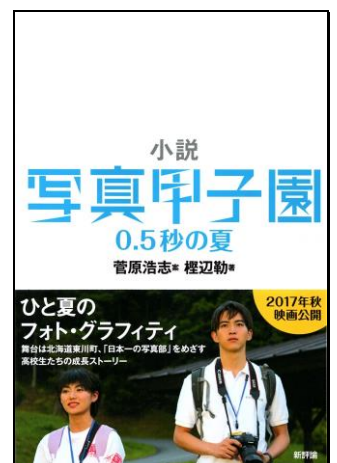
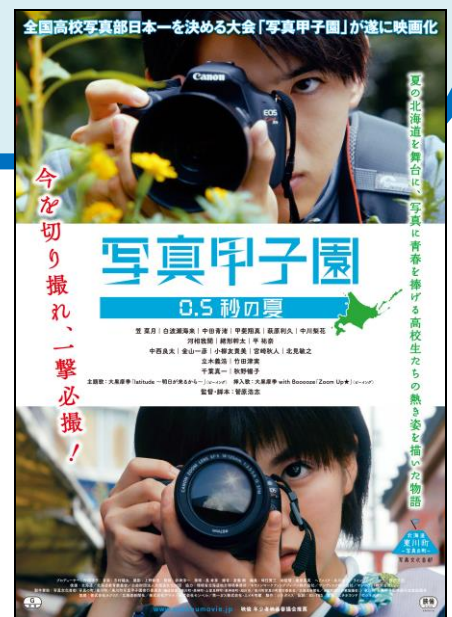
出演者プロフィール

菅原 浩志（すがわら ひろし）映画監督・脚本家

1955年札幌市生まれ。札幌啓成高等学校卒業後、フランス・フォード・ Coppola 監督で有名なカリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）芸術学部映画テレビ学科に留学。そこで映画製作・演出を学び、クームルーデ賞（優秀賞）を受賞し卒業する。帰国後、『里見八犬伝』等のプロデューサーを務め、1988年『ぼくらの七日間戦争』で監督デビュー。ブルーリボン作品賞、くまもと映画祭監督賞を受賞し、「日本映画100本」の一本に選ばれる。『ほたるの星』は第16回東京国際映画祭コンペティションに公式参加した後、世界各国で公開。浅丘ルリ子主演の『早咲きの花』は、第19回東京国際映画祭、豪州シドニー映画祭で公式上映され、国内外で高く評価されている。2004年より徳山大学客員教授。環境省主催のホタレンジャー審査員。ちぎり文学賞審査委員長。豊橋まつり総合プロデューサー。

桎辺 勲（かしべ ろく）本書著者

1961年宮城県生まれ。文筆家兼編集者。人文書版元の編集者を経て独立。哲学や人文書から特撮、サブカルまで幅広く手がける。【執筆】『哲メン図鑑～顔からわかる哲学史』（五月書房）、『「仮面ライダー響鬼」の事情』（五月書房）、『NHK 連続人形劇プリンプリン物語メモリアルブック』（監修友永詔三、河出書房新社）【企画・編集】『行商列車～〈カンカン部隊〉を追いかけて』（山本志乃著、創元社）、『西洋の没落 ニュー・エディション』（O. シュペングラー著、五月書房）、『琉神マブヤーでーじ読本～ヒーローソフィカル沖縄文化論～』（山本伸著、三月社刊）他



入場無料／要整理券 参加ご希望のお客様は、旭川店
4階レジカウンターにて整理券をお受取りください。

株式会社 新評論
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-16-28
TEL03-3202-7391 / FAX03-3202-5832